



「日本一」の北陽小学校

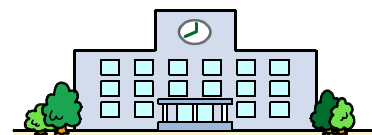
校長 野尻 一裕

大雪に見舞われた23日間の冬休みが終わり、元気に児童が登校してきました。後期後半がスタートしました。今シーズンは、たくさん子どもたちがスケート練習に取り組んでいます。リンクは大賑わいです。スケートは回数をこなすことでぐんぐんと上達するようです。

みどり台小学校の学校分離までの登校日数が残り40日を切りました。北陽小学校も、児童数が1000名を超えている「過大規模」の状態もあと少しとなりました。

改めて沿革史を調べてみますと、平成6年に信濃小学校から分離、開校した時点では児童数405名でした。学級数はひまわり学級を含め13学級ですので、現在の3分の1ほどです。航空写真を見ると、グラウンドの向こう側はまだ農地です。学校周辺の環境が今とはずいぶん違っています。児童数1000名を超えたのが平成22年、平成31年には1500名となりました。これが最多となっています。当時の記録では、体育館いっぱいにはすき間なく児童が集まって全校集会を行ったりして、新聞やテレビの取材も複数あったようです。この間、4回の校舎の増改築を繰り返して、教室数を確保してきました。1月末の数字は、児童数1491名、学級数45学級となっています。歴代の卒業生は3762名で、今年も245名の6年生が卒業することになっています。最大規模の6年間で過ごした卒業生です。

残された日々の中、子どもたちには、たくさんの思い出を作り、卒業・進級してもらいたいと願っています。現在、本校に在籍するすべての児童が4月から学級・学校が変わります。中には、仲良しのお友達や先生ともお別れをし、淋しい思いをするかもしれません。学校では、この先、生じるであろう児童の心配や不安に向き合い、緩和と解消に努めてまいりたいと思います。なお、みどり台小学校に関しては、2月中旬以降に予定している学校説明会にてお知らせをいたします。



コロナ禍の影響で、なかなか計画通りに教育活動を進めることはできず、もどかしい思いもあります。度重なる急な予定変更等で、保護者の皆様にはたいへんご迷惑をおかけしておりますが、何卒、ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

